

毎日、家の中だけの生活のお年寄りに、

車椅子で外気浴を兼ねた散歩は、気分転換にもなります。

お誘いしてはいかがでしょうか。

ベッドから車椅子への移動手順及び車椅子での外出介助の注意事項

- 1) その日のお年寄りの身体状況を知る。
- 2) お年寄りに今からすること(散歩)をよく説明する。
- 3) 麻痺のない側に車椅子を20~30度の角度に置き、ブレーキをかけ、フットレス(足を置く所)をあげ、外出時の衣服を用意する。
- 4) ベッドに腰掛けるようにしてもらい、(疾病に応じては、起こしてあげる。)車椅子への移動時に支えとして持つ腰紐を点検する。(伸びなくて丈夫なもの)
- 5) 安定した動作で、お年寄りの手を介護者の首に廻す。  
お年寄りの足を介護者の両膝で挟む。  
背中を伸ばしたまま腰に力を入れ、お年寄りの両膝を挟み持ち上げる。お年寄りのベルト部分を持ち、股間に大腿を差し込み90度回転し、車椅子に移す。(常にお年寄りの残存機能をいかし、介護者は声かけをしながら動作をする。)
- 6) 車椅子に深く腰かけてもらうために、介護者が車椅子の後方から脇に手を廻して体を後へ移動させる。
- 7) フットレス(足を置く所)に足を乗せる。
- 8) 着衣をし、肩掛け、膝かけ、スリッパ又は靴等で保温に努める。  
(疾病に応じて和服用でスポンジのついた伊達じめ等を使用して安全と保護に気配りする)
- 9) 車椅子での坂、段差等は後ろ向きで介助します。  
エレベーターに乗る時は、後ろ向きで介助者が先に乗り、降りる時は、開閉ボタンの確認をしてから、車椅子に乗っている人の方から出ます。常に車椅子に乗っている人の安全確認をして下さい。

◆安全第一で、事故のないよう、目配り・気配りが大切です。  
元一宮寮寮母 葛谷君子

◆助成金で購入した輪転機が大変役に立っています。半年の活動をまとめてみました。非力な私達ですが、一歩踏み出したのでしようか。

◆改めて、ご援助いただいたたくさんの方々に感謝。コスモス通信を見て、他団体の皆さんからお問い合わせをいただいております。情報交換をしたいと思います。互いに会の発展につなげればと思っております。

◆もう十二月。来年はどんな年になるのでしょうか。息の長い活動にするための基礎固めの年にしたいと思います。皆さんよろしくお願ひ致します。



十一月二十、二十一日の両日、スポーツ文化センターで開かれました「第五回みんなと一緒に福祉とボランティア」のふれあいバザーに、まごころサービスマスクセンターも参加させていただきました。

会員の皆様をはじめ、沢山の方々のご協力のお陰で大きな成果をあげることが出来ました。

参加点数二二六点の全てをお買い上げいただき、三万八千七百四十円の収入が得られました。

この収益は会の運営資金として活用させていただきます。

どうもありがとうございました。

ふれあいバザーにまごころサービスマスクセンターも参加させていただきました。

朝日厚生文化事業団より  
助成金50万円を受領

既にご案内のとおり、輪転機の購入費50万円の助成を戴くことになっておりましたが、11月12日に事務局の方がご持参下さり受領致しました。

また、11月22日の朝日新聞には助成団体の記事が掲載されています。当センターの部分を転載させていただきます。

11月22日の朝日新聞より

在宅介護始め半年

年を取っても住み慣れた家が安心して暮らしたい。お年寄りのそんな素朴な願いをかなえるため、市内の主婦たちが在宅介護を始めて、まもなく半年。

サービスとしては、食事から身の回りの世話、買い物、通院など外出時の介助、留守番、話し相手など、お年寄りが生活していく上で必要と思われるほとんどすべてが含まれている。

主婦ら女性ばかり十二人が発起人となった。会報の発行、勉強会の資料、チラシづくりなどに、「高速の輪転機がぜひほしかった」(平田和代代表)の思いが、今回の助成で実現する。

◆所在地 一宮市花畑四の四の三三三電話 〇五八六一四五一九七二五マ結成  
〇一九九三年六月マ会員数 〇百二十一

まごころサービスマスクセンター 一宮市

宇宙塵

「声、ボランティア」

伊藤敬三

人は声を発し、初めて、其の存在を知られます。世界の人口の半分は女性です。男と女は同じでしょうか。殆どは同じでしょう。しかし、確かに異なる部分も有る筈です。よく、男社会と言われる。瞬発的な欲望や、智力がより強いから、そう為るのでしょうか。それらは、単に、人間の発育過程における、性ホルモンの大脳に対する作用の差異による、との学説もあります。女性の耐久力や社会に対するバランス感覚は、非常に優れたものが有ります。

この世には、確かに、体力や精神的に、自己の認識の内外に、能力の優劣があり、優れた者も、より優れた者から見れば、劣者であります。更なる調和のある進歩を達成する為に、より多くの、女性らしい考えを伺いたいものです。  
(聖心堂医院院長)

高齢者の為の

11月シリーズ・ちょっと一品

みぞれ鍋

寒くなりました。大根おろしを使ったひと味ちがう鍋もので暖まっはいかがでしょうか。

◆材料(二人分)

- 大根・・・300g
  - しゅんぎく・・・100g
  - 豆腐・・・1/2丁
  - しめじ・・・1/2パック
  - 鶏もも肉・・・100g
  - だし・・・カップ5
  - えのきだけ・・・40g
  - 塩・・・小匙1/4
  - ぼん酢しょうゆ
- (ゆずのしぼり汁大さじ1.5、酢大さじ1、しょうゆ大2)

◆作り方

- 1) 大根は皮をむいてすりおろし、ザルにとっ水気を軽く切る。
- 2) 豆腐は4つ切り、鶏肉は一口大、しゅんぎくは2~3つに切る。しめじは小房に分けます。
- 3) 土鍋にだしを入れ煮立ったら、鶏肉を入れ煮、豆腐、きのこを加え、アクをとりながら煮る。しゅんぎくを加え、大根おろしをのせ火を通す。
- 4) ぼん酢しょうゆをかけ、汁ごといただきます。

☆具を、かきや豚薄切り肉、ほうれん草などお好みで・・・